



関中央ロータリークラブ

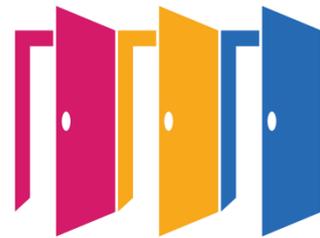
2020-2021 WEEKLY REPORT

例会日：毎週木曜日 18時30分 例会場：関観光ホテル 住所：岐阜県関市池尻 91-2
事務局：岐阜県関市下有知 1655-1 山田ビル 1階D室 TEL (0575) 24-7332 FAX (0575) 23-5278
会長 川村紳一 副会長 西田健一 幹事 石原妙生 クラブ会報委員長 大藪太

2020～2021年度 関中央ロータリークラブ会長テーマ

「一人ひとりが輝く」

～会員同士の絆を大切に～



ロータリーは機会の扉を開く

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日のプログラム 新型コロナウイルス感染症対応原稿例会

第 2030 回例会 2021 年 1 月 28 日 (木) / 担当 職業奉仕委員会

*会長あいさつ 川村 紳一会長

2021年の年が明け、このところ大変寒い日が続いています。20日は二十四節季の一つ「大寒」で、一年で最も寒い時期と言われております。この大寒が過ぎると「立春」がやってきます。この時期の水のことを「寒の水」と言います。お酒や味噌の仕込みにも最適した時期とされています。寒の水は気温も湿度も低いため、雑菌が少ないことで知られており、一年で一番質がよく、保存に向いていると言われております。この時期に仕込んだお酒を「寒仕込み」と言い、希少価値があるとされています。我がロータリークラブ有志で作る「多笑」、寒い時期の飲み心地も良いものです。

1月19日関青年会議所(JC)の2021年度理事長所信表明会に、RC会長として出席してまいりました。今までの名刺交換会と違いコロナ禍での開催とあって、感染拡大を防止するため会食を伴う新年名刺交換会を自粛した理事長所信表明会となりました。田中新理事長が2021年度のスローガンを「和すれば強し」と表明され、「全ての始まりは人との出会いから」・「未来のためのまちづくり」・「青少年の健全

な成長」・「会員の資質向上」・「やり遂げる会員拡大」・「むすびに「和」を成すメンバーへ」力の入った所信表明を招待者、会員の前で立派に述べられました。

さて、新年早々から休会が続き、2回目の緊急事態宣言が発出されました。飲食を伴う会食は午後8時迄、昼間の会食は極力避ける、リモートワークで7割削減、不要不急の外出は避ける等々2月7日まで政府からの要望がありました。岐阜県も緊急事態宣言の対象です。岐阜地域、中濃地域では病床利用率が100%近く大変な状況です。関市でも感染者が少なからず出ています。4月～5月の第1波・7月～8月の第2波・11月～1月現在第3波と段々コロナ感染者が多く感染して大変な状況になっています。この状況がいつまで続くのか見当が付きません。政府の発表では2月末頃より医療従事者から順次ワクチン接種が始まり、一般の人は5月頃になると発表されました。関中央RCも理事・役員会で協議し2月の例会が中止になりました。会員一人一人が感染に留意して、感染終息後に皆さんと一緒に例会が開催されることを願っています。

*原稿卓話 職業奉仕委員長 山本義樹委員長

先般は「ふる里農園 美の関」でのイチゴ摘み取り体験を含んだ職業奉仕例会につきまして、沢山の出席希望を賜りながら、コロナ対応により急遽中止をご案内させて頂く事になり、大変申し訳ございませんでした。今後条件がそろった時にまたご案内させて頂きますのでその節には宜しくお願い申し上げます。

今回予定をしておりました「ふる里農園 美の関」を少し紹介させていただきます。現在7万坪の敷地の中でイチゴ、トマトの室内ハウス栽培。露地栽培ではトウモロコシ、はくさい、大根、ニンジンなどの各種の野菜を栽培しております。また、パーベキューハウスも併設されており、リーズナブルで人気の会場となっています。今の時期はイチゴ狩りが人気の時期で家族連れ等の予約が多く入っています。



さて、私の小さい頃、家業は百姓の専業農家として、稲作はもちろんのこと、しいたけ栽培、野菜ではみつば栽培、池ではジュンサイの栽培と色々手掛けて居りました。又、畜産では豚を野原にて放牧育成させ、にわとりも多く育てていました。そのうちに先代が農業では食べていけないと言い出しまして、油商売に転換いたしました。当初は薪炭類を扱い豆炭、練炭、オガライトがよく売れていた時代でしたが、経済の変化で灯油の販売、

あるいはプロパンガスの販売を扱うようになり、今では現在のガソリンスタンドに変化いたしました。

私も最近は仕事時間の余裕ができるようになり、先祖伝来からずっと何年も休耕田のままでありました農業に一念発起しまして、今は稲作に努めており、稲作を始めて5年が経過しました。なんとか予定通りの収穫が見込めるようになっております。まだ現在も使用していない休耕地が多くあり、無理のない設備投資をしながら採算を合わせ今後どのように役立てていくかが、私の今の農業テーマとなっております。

ご覧いただきありがとうございます。

<次例会の案内>

第2031回 2021年2月18日(木)

「新型コロナウイルス感染症対応原稿例会」

寄稿者 国際ロータリー第2630地区

公共イメージ委員会

委員長 土川 東 様

担当 クラブ会報・雑誌・広報委員会

